

学校コード F134310109955

注3

設置年度 令和 令和2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

広島国際大学 健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人常翔学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学長室
職名・氏名	課長 <small>スエマサ ケンジ</small> 末政 賢二
電話番号 (夜間)	0823-70-4503
e-mail	hiu.shomu@joshu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

健康スポーツ学部

＜健康スポーツ学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 常翔学園

(2) 大学名

広島国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-2695

広島県東広島市黒瀬学園台555番地36

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クレ テツオ) 久禮 哲郎 (平成26年1月)	(ニシムラ ヤスシ) 西村 泰志 (令和2年7月)	任期満了により交代 (令和2年7月) (3)
学長	(ヤケヒロ マスヒデ) 焼廣 益秀 (平成27年11月)		
学部長	(ハットリ コウジ) 服部 宏治 (令和2年4月)		
学科長等	(カン アキラ) 菅 輝 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 学士 (健康スポーツ学)	体育関係	4年	70人	2年次 — 3年次 — 4年次 — 人	280人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	70人 []	— []	1.13倍	—倍	1.09倍	—倍							
志願者数	() []	() []	() []	() []	212 []	— []	307 []	— []	210 []	— []	231 []	— []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	209 []	— []	301 []	— []	205 []	— []	230 []	— []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	131 []	— []	126 []	— []	111 []	— []	151 []	— []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	76 []	— []	81 []	— []	73 []	— []	89 []	— []					
入学定員超過率 B/A					1.08		1.15		1.04		1.27						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	76 [-] (-)	[] ()	81 [-] (-)	[] ()	73 [-] (-)	[] (-)	89 [-] (-)	- [-] (-)	令和4年度 大学内他学部転出者1名(2年次外数)
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[] ()	[-] (2)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	[-] (1)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	76 [-] (-)	[] ()	151 [-] (-)	[] ()	[] ()	[-] (2)	[] ()	306 [-] (1)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	76人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	151人	6人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	6人	0人	心身耗弱(1人)、就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学(3人)、除籍(1人)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	221人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	人	就学意欲の低下(1人)
			令和3年度	1人	人	除籍(1人)
			令和4年度	人	人	
令和5年度	306人	4人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3人	0人	就職(1人)、除籍(2人)
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			令和5年度	0人	0人	
合計		12人		12人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{76} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{151} = \boxed{3.97} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{221} = \boxed{0.9} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{306} = \boxed{1.3} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康スポーツ学部 健康スポーツ学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1			1						兼2	
	チュートリアル	1前	1			5		3					
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1					1					
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1						1				
	地域創生と危機管理	1前・後	1									兼3	
	デジタルコミュニケーション	1前	1			1						兼3	
	データサイエンスⅠ	1後	1			1						兼3	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1									兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1									兼5	
	スポーツ学	1前・後	1				1					0	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1			4	1	1	2			兼1	
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	6	1	3	2	0		兼19	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	6	1	3	2	0	兼19	
オプション科目	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1									兼1	
	中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼1	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1									兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼1	
	小計 (4科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	情報学	1・2・3前・後	1			1						兼1	
	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	1	0	0	0	0	0	兼1
	人間と文化	1・2・3前・後	2									兼1	
	哲学	1・2・3前・後	2									兼1	
	文学	1・2・3前・後	2									兼1	
	心理学	1・2・3前・後	2									兼1	
	芸術学	1・2・3前・後	2									兼1	
	文化人類学	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (5科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	1・2・3前・後	2									兼1	
	日本国憲法	1・2・3前・後	2									兼1	
	経済学	1・2・3前・後	2									兼1	
	歴史学	1・2・3前・後	2									兼1	
	政治学	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (4科目)	—	—	2	6	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	人間と自然	1・2・3前・後	2			1							兼1
	統計学	1・2・3前・後	2									兼1	
	数学基礎	1・2・3前・後	1									兼1	
	数学	1・2・3前・後	2									兼1	
	物理学	1・2・3前・後	2									兼1	
	化学	1・2・3前・後	2									兼1	
	生物学	1・2・3前・後	2									兼1	
	科学実験a	1・2・3前・後	1									兼4	
	科学実験b	1・2・3前・後	1									兼4	
	小計 (8科目)	—	—	2	11	0	1	0	0	0	0	0	兼7
	総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2									兼1
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1									兼2
	英語プレゼンテーション	2・3前・後	1									兼1	
検定英語	2・3前・後	1									兼1		
グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1									兼1		
グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1									兼1		
小計 (5科目)	—	—	0	5	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1			1						兼1	
データ解析	1・2・3前・後	1			1							兼1	
プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1			1							兼1	
小計 (3科目)	—	—	0	3	0	1	0	0	0	0	0	兼1	
体育健康	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1			4	1	1	2			兼1	
小計 (1科目)	—	—	0	1	0	4	1	1	2	0	0	兼1	
人間と文化a	1・2・3前・後	1									兼1		
人間と文化b	1・2・3前・後	1									兼1		
小計 (2科目)	—	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と社会a	1・2・3前・後	1									兼1		
人間と社会b	1・2・3前・後	1									兼1		
小計 (2科目)	—	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
人間と自然a	1・2・3前・後	1									兼1		
人間と自然b	1・2・3前・後	1									兼1		
小計 (2科目)	—	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1									兼7	
小計 (1科目)	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
留学生特別科目	留學生特別科目	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼7	
オプション科目	人間と社会	日本事情 a	1・2・3前・後	2								兼2	
	日本事情 b	1・2・3前・後	2									兼2	
	小計 (2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	ルグロバ	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2								兼1	
	日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2									兼1	
小計 (2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1		
オプション科目 合計 (44科目)	—	—	4	60	0	2	1	1	2	0	0	兼23	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1			1						兼3	
	チュートリアル	1前	1			5		4	2				
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1				1						
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1				1						
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1					1				兼1	
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1						1			兼1	
	地域創生と危機管理	1前・後	1									兼13	
	デジタルコミュニケーション	1前	1			1						兼3	
	データサイエンスⅠ	1後	1			1						兼3	
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5	
	英語リーディングⅠ	1前	1									兼5	
	英語リーディングⅡ	1後	1									兼5	
	スポーツ学	1前・後	1				1					0	
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1			4	1	1	2			兼1	
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	6	1	4	2	0		兼28	
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	6	1	4	2	0	兼28	
オプション科目	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1									兼1	
	中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼1	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1									兼1	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1									兼1	
	小計 (4科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1			1						兼1
	小計 (1科目)	—	—	0	1	0	1	0	0	0	0	0	兼1
	人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2									兼1
	文学	1・2・3前・後	2									兼1	
	心理学	1・2・3前・後	2									兼1	
	芸術学	1・2・3前・後	2									兼1	
	文化人類学	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (5科目)	—	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後	2									兼1
	経済学	1・2・3前・後	2									兼1	
	歴史学	1・2・3前・後	2									兼1	
	政治学	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (4科目)	—	—	2	6	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2			1						兼1
	数学基礎	1・2・3前・後	1									兼1	
	数学	1・2・3前・後	2									兼1	
	物理学	1・2・3前・後	2									兼1	
	化学	1・2・3前・後	2									兼1	
	生物学	1・2・3前・後	2									兼1	
	科学実験a	1・2・3前・後	1									兼4	
	科学実験b	1・2・3前・後	1									兼4	
	小計 (8科目)	—	—	2	11	0	1	0	0	0	0	0	兼7
	総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2									兼1
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2									兼1	
	小計 (2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1									兼2
	英語プレゼンテーション	2・3前・後	1									兼1	
	検定英語	2・3前・後	1									兼1	
	グローバル化と人間a	1・2・3前・後</											

卒業要件及び履修方法	
【卒業要件】	本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。
【履修単位の上限】	1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。
【履修方法】	
○スタンダード科目	必修科目：15単位
(小計)	15単位
○オプション科目	必修科目：4単位 (「統計学」2単位、「日本国憲法」2単位)
選択科目：14単位	
(小計)	18単位以上
○専門教育科目	必修科目：24単位 (『専門基礎分野』16単位、『専門総合分野』8単位)
選択科目：61単位	(「スポーツ実技A」の種目から3科目3単位、 「スポーツ実技B」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技C」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技D」の種目から1科目1単位、 「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、 「運動処方演習」、 「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」 の科目から3科目6単位、 「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、 「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から 1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目2単位)の 20単位を含むこと)
(小計)	85単位
○その他	選択科目：6単位
(小計)	6単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、 他学科の専門教育科目含む)
(合計)	124単位以上

卒業要件及び履修方法	
【卒業要件】	本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。
【履修単位の上限】	1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。
【履修方法】	
○スタンダード科目	必修科目：15単位
(小計)	15単位
○オプション科目	必修科目：4単位 (「統計学」2単位、「日本国憲法」2単位)
選択科目：14単位	
(小計)	18単位以上
○専門教育科目	必修科目：24単位 (『専門基礎分野』16単位、『専門総合分野』8単位)
選択科目：61単位	(「スポーツ実技A」の種目から3科目3単位、 「スポーツ実技B」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技C」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技D」の種目から1科目1単位、 「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、 「運動処方演習」、 「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」 の科目から3科目6単位、 「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、 「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から 1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目2単位)の 20単位を含むこと)
(小計)	85単位
○その他	選択科目：6単位
(小計)	6単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、 他学科の専門教育科目含む)
(合計)	124単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	手					
専門教育科目	専門基礎分野	健康スポーツ概論	1前・後	2			5									
		スポーツ原理	1前・後	2			1								兼1	
		スポーツ経営管理学	2前・後	2	2											兼1
		スポーツ社会学	2前・後	2			1									
		スポーツ史	2前・後	2			1									
		スポーツビジネス特論	1前・後	2	2											兼1
		スポーツ心理学	2前・後	2			2									兼1
		スポーツ運動学	2前・後	2			1									兼1
		バイオメカニクス	2前・後	2			1									
		体力測定評価	2前・後	2	2			1								
		コーチング論	2前・後	2	2											兼1
		スポーツ生理学	2前・後	2			1									
		運動処方論	2前・後	2	2			1								兼1
		スポーツ栄養学	1前・後	2	2											兼1
		スポーツ医学	1前・後	2	2											兼1
		人体機能解剖学	2前・後	2			1									
		生涯学習概論 I	2前・後	2	2				1							
		生涯学習支援論 I	2前・後	2	2					1						
		社会教育経営論 I	2前・後	2	2						1					
		学校保健	1前・後	2	2											兼1
		トレーニング論	2前・後	2	2				1							
		レクリエーション概論	1前・後	2	2											兼1
		衛生学・公衆衛生学	1前・後	2	2											兼1
		健康教育学	1前・後	2	2											兼1
		スポーツ実技A (陸上競技)	2前・後	1				1								兼1
		スポーツ実技A (器械運動)	2前・後	1												兼1
		スポーツ実技A (水泳)	2前・後	1			1									兼1
		スポーツ実技A (健康体力づくり)	2前・後	1						1						兼1
		スポーツ実技B (ダンス)	2前・後	1							1					
		スポーツ実技B (武道1)	2前・後	1			1									
		スポーツ実技B (武道2)	2前・後	1			1									
		スポーツ実技C (ゴール型1)	2前・後	1			1									
		スポーツ実技C (ゴール型2)	2前・後	1			1									兼1
		スポーツ実技C (ベースボール型)	2前・後	1			1									
		スポーツ実技C (ネット型1)	2前・後	1			1									
		スポーツ実技C (ネット型2)	2前・後	1			1									
		スポーツ実技D (野外活動1)	1・2前・後	1			1	2								
		スポーツ実技D (野外活動2)	1・2前・後	1			1	2								兼2
小計 (38科目)	—	—	16	46	0	6	1	3	2	0				兼13		
専門教育科目	専門基礎分野	身体スポーツ文化論	2前・後	2			1								兼1	
		スポーツ解析演習	2前・後	2			2		1							
		運動処方演習	3前・後	2			2									
		トレーニングプログラム演習	3前・後	2					1							
		レクリエーション演習	2前・後	2							1				兼1	
		保健体育科教育法 I	2前・後	2			1		1							
		保健体育科教育法 II	2前・後	2					1							
		保健体育科教育法 III	3前・後	2			1									
		保健体育科教育法 IV	3前・後	2			1									
		生涯学習概論 II	3前・後	2			1									
		生涯学習支援論 II	3前・後	2			1									
		社会教育経営論 II	3前・後	2			1									
		労働法規 I	3前・後	2												
		労働法規 II (労働と環境)	3前・後	2												
小計 (14科目)	—	—	0	28	0	6	0	3	1	0				兼4		
専門教育科目	専門基礎分野	スポーツ科学演習 A	3前・後	2		2	1									
		スポーツ科学演習 B	3前・後	2		1	1									
		スポーツ科学演習 C	3前・後	2		2										
		スポーツ科学演習 D	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 A (陸上競技)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 A (器械運動)	3前・後	2												
		スポーツ実技指導演習 A (水泳)	3前・後	2												
		スポーツ実技指導演習 A (健康体力づくり)	3前・後	2					1							
		スポーツ実技指導演習 B (ダンス)	3前・後	2												
		スポーツ実技指導演習 B (武道1)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 B (武道2)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 C (ゴール型1)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 C (ゴール型2)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 C (ベースボール型)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 C (ネット型1)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 C (ネット型2)	3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 D (野外活動1)	2・3前・後	2			1									
		スポーツ実技指導演習 D (野外活動2)	2・3前・後	2			1									
		障がい者スポーツ演習	3前・後	2					1							兼1
		介護予防運動演習	3前・後	2												兼1
健康運動指導実習	3前・後	1			3									兼1		
エクササイズ指導実習	3前・後	2					1							兼1		
エクササイズ指導実習	3前・後	1					1							兼1		
社会教育実習 A	3前・後	1					1							兼1		
社会教育実習 B	3前・後	1					1							兼1		
小計 (25科目)	—	—	0	48	0	5	1	3	2	0				兼10		
専門教育科目	専門総合分野	健康スポーツ学総合演習 I	3後	2		3		3	2							
		健康スポーツ学総合演習 II	4後	2		3		3	2							
		卒業研究 I	4前	2		5		1								
		卒業研究 II	4後	2		5		1								
		小計 (4科目)	—	—	8	0	0	5	0	3	2	0				0
教職に関する科目	教職に関する科目	教育原論	1前・後	1											兼1	
		教職概論	1前・後	2											兼1	
		教育制度論	2前・後	2											兼1	
		学校教育心理学	2前・後	2											兼1	
		特別支援教育論	2前・後	1											兼1	
		教育課程論	3前・後	2											兼1	
		道徳教育理論・指導法	3前・後	2											兼1	
		総合的な学習の時間の指導法	3前・後	1											兼1	
		特別活動の指導法	3前・後	2											兼1	
		教育方法論	2前・後	2											兼1	
		生徒指導論	2前・後	1											兼1	
		教育相談	3前・後	1											兼1	
		進路指導・キャリア教育論	3前・後	1											兼1	
		教育実習事前事後指導	4前・後	1			1								兼3	
		教育実習 I (高のみ)	4前・後	2			1								兼3	
		教育実習 II (中・高)	4前・後	4			1								兼3	
		教職実践演習 (中・高)	4後	2			1								兼3	
		小計 (17科目)	—	—	0	0	29	1	0	1	0	0				兼6
		専門教育科目 合計 (98科目)	—	—	24	122	29	6	1	3	2	0				兼24
		健康スポーツ学科 合計 (157科目)	—	—	43	182	29	6	1	3	2	0				兼62

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	手					
専門教育科目	専門基礎分野	健康スポーツ概論	1前・後	2			5									
		スポーツ原理	1前・後	2			1									兼1
		スポーツ経営管理学	2前・後	2	2											兼1
		スポーツ社会学	2前・後	2			1									
		スポーツ史	2前・後	2			1									
		スポーツビジネス特論	1前・後	2	2											兼1
		スポーツ心理学	2前・後	2			2									兼1
		スポーツ運動学	2前・後	2			1									兼1
		バイオメカニクス	2前・後	2			1									
		体力測定評価	2前・後	2	2			1								
		コーチング論	2前・後	2	2											兼1
		スポーツ生理学	2前・後	2			1									
		運動処方論	2前・後	2	2			1								兼1
		スポーツ栄養学	1前・後	2	2											兼1
		スポーツ医学	1前・後	2	2											兼1
		人体機能解剖学	2前・後	2			1									
		生涯学習概論 I	2前・後	2												

卒業要件及び履修方法	
【卒業要件】	本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。
【履修単位の上限】	1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。
【履修方法】	
○スタンダード科目	必修科目：15単位
(小計)	15単位
○オプション科目	必修科目：4単位 (「統計学」2単位、「日本国憲法」2単位)
選択科目：14単位	
(小計)	18単位以上
○専門教育科目	必修科目：24単位 (『専門基礎分野』16単位、『専門総合分野』8単位)
選択科目：61単位	(「スポーツ実技A」の種目から3科目3単位、 「スポーツ実技B」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技C」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技D」の種目から1科目1単位、 「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、 「運動処方演習」、 「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」 の科目から3科目6単位、 「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、 「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から 1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目2単位)の 20単位を含むこと)
(小計)	85単位
○その他	選択科目：6単位
(小計)	6単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、 他学科の専門教育科目含む)
(合計)	124単位以上

卒業要件及び履修方法	
【卒業要件】	本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。
【履修単位の上限】	1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。
【履修方法】	
○スタンダード科目	必修科目：15単位
(小計)	15単位
○オプション科目	必修科目：4単位 (「統計学」2単位、「日本国憲法」2単位)
選択科目：14単位	
(小計)	18単位以上
○専門教育科目	必修科目：24単位 (『専門基礎分野』16単位、『専門総合分野』8単位)
選択科目：61単位	(「スポーツ実技A」の種目から3科目3単位、 「スポーツ実技B」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技C」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技D」の種目から1科目1単位、 「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、 「運動処方演習」、 「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」 の科目から3科目6単位、 「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、 「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から 1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目2単位)の 20単位を含むこと)
(小計)	85単位
○その他	選択科目：6単位
(小計)	6単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、 他学科の専門教育科目含む)
(合計)	124単位以上

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼務				
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教					
スタンダード科目	アカデミックリテラシー	1前	1		1				兼3				
	チュートリアル	1前	1		5		3						
	専門職連携基礎演習Ⅰ	1前・後	1			1							
	専門職連携基礎演習Ⅱ	1前・後	1										
	専門職連携総合演習Ⅰ	2・3・4前・後	1			1							
	専門職連携総合演習Ⅱ	2・3・4前・後	1										
	地域創生と危機管理	1前・後	1				1		兼14				
	デジタルコミュニケーション	1前	1		1				兼3				
	データサイエンスⅠ	1後	1		1				兼3				
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1						兼5				
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1						兼5				
	英語リーディングⅠ	1前	1						兼5				
	英語リーディングⅡ	1後	1						兼5				
	スポーツ学	1前・後	1			1							
	スポーツ実習Ⅰ	1前・後	1		4	1	1	2					
小計 (15科目)	—	—	15	0	0	6	1	3	2	0	兼26		
スタンダード科目 合計 (15科目)			—	15	0	0	6	1	3	2	0	兼26	
オプション科目	グローバル	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	1							兼1		
		中国語Ⅱ	1・2・3前・後	1							兼1		
		ドイツ語Ⅰ	1・2・3前・後	1							兼1		
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3前・後	1							兼1		
		小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	情報学	プログラミングⅠ	1・2・3前・後	1			1					兼1	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	1	0	0	0	0	兼1	
		人間と文化	哲学	1・2・3前・後	2								兼1
			文学	1・2・3前・後	2								兼1
			心理学	1・2・3前・後	2								兼1
	芸術学		1・2・3前・後	2								兼1	
	文化人類学		1・2・3前・後	2								兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5		
	人間と社会	日本国憲法	1・2・3前・後	2								兼1	
		経済学	1・2・3前・後	2								兼1	
		歴史学	1・2・3前・後	2								兼1	
		政治学	1・2・3前・後	2								兼1	
		小計 (4科目)	—	2	6	0	0	0	0	0	0	兼4	
	人間と自然	統計学	1・2・3前・後	2			1					兼1	
		数学基礎	1・2・3前・後	1								兼1	
		数学	1・2・3前・後	2								兼1	
		物理学	1・2・3前・後	2								兼1	
		化学	1・2・3前・後	2								兼1	
生物学		1・2・3前・後	2								兼1		
科学実験a		1・2・3前・後	1								兼3		
科学実験b		1・2・3前・後	1								兼4		
小計 (9科目)		—	2	11	0	1	0	0	0	0	兼7		
総合	日本語表現法	1・2・3前・後	2								兼1		
	コミュニケーション論	1・2・3前・後	2								兼1		
小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2			
オプションアドバンスド	グローバル	Reading & Writing	2・3前・後	1							兼1		
		英語プレゼンテーション	2・3前・後	1							兼1		
		検定英語	2・3前・後	1							兼1		
		グローバル化と人間a	1・2・3前・後	1							兼1		
		グローバル化と人間b	1・2・3前・後	1							兼1		
	小計 (5科目)	—	0	5	0	0	0	0	0	0	兼5		
	情報学	データサイエンスⅡ	1・2・3前・後	1			1					兼1	
		データ解析	1・2・3前・後	1			1					兼1	
		プログラミングⅡ	1・2・3前・後	1			1					兼1	
	小計 (3科目)	—	0	3	0	1	0	0	0	0	兼3		
	体育健康	スポーツ実習Ⅱ	1・2・3前・後	1			4	1	1	2		0	
		小計 (1科目)	—	0	1	0	4	1	1	2	0	0	
	化人間と文	人間と文化 a	1・2・3前・後	1								兼1	
		人間と文化 b	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
	会人間と社	人間と社会 a	1・2・3前・後	1								兼1	
		人間と社会 b	1・2・3前・後	1								兼1	
		小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
然人間と自	人間と自然 a	1・2・3前・後	1								兼1		
	人間と自然 b	1・2・3前・後	1								兼1		
	小計 (2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2		
総合	教養ゼミ	1・2・3前・後	1								兼7		
	小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼7		
オプション科目	会人間と社	日本事情 a	1・2・3前・後	2							兼2		
		日本事情 b	1・2・3前・後	2							兼2		
		小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2	
	ルグローバル	日本語Ⅰ	1・2・3前・後	2								兼1	
		日本語Ⅱ	1・2・3前・後	2								兼1	
小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1			
オプション科目 合計 (44科目)			—	4	60	0	2	1	1	0	0	兼23	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼務	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 専門基礎分野	健康スポーツ概論	1前・後	2	0	5						
	スポーツ原理	1前・後	2	0	1						
	スポーツ経営管理学	2前・後	2	2							兼1
	スポーツ社会学	2前・後	2	0	1						
	スポーツ史	2前・後	2	0	1						
	スポーツビジネス特論	1前・後	2	2							兼1
	スポーツ心理学	2前・後	2	2							兼1
	スポーツ運動学	2前・後	2	0	1						
	バイオメカニクス	2前・後	2	0	1						
	体力測定評価	2前・後	2	2	1						
	コーチング論	2前・後	2	2							兼1
	スポーツ生理学	2前・後	2	2	1						
	運動処方論	2前・後	2	2	1						兼1
	スポーツ栄養学	1前・後	2	2							兼1
	スポーツ医学	1前・後	2	2							兼1
	人体機能解剖学	2前・後	2	2	1						
	生涯学習概論 I	2前・後	2	2		1					
	生涯学習支援論 I	2前・後	2	2				1			兼1
	社会教育経営論 I	2前・後	2	2				1			兼1
	学校保健	1前・後	2	2							兼1
	トレーニング論	2前・後	2	2		1					
	レクリエーション概論	1前・後	2	2							兼1
	衛生学・公衆衛生学	1前・後	2	2							兼1
	健康教育学	1前・後	2	2							兼1
	スポーツ実技 A (陸上競技)	2前・後	1	1		1					
	スポーツ実技 A (器械運動)	2前・後	1	1							兼1
	スポーツ実技 A (水泳)	2前・後	1	1							兼1
	スポーツ実技 A (健康体力づくり)	2前・後	1	1							兼1
	スポーツ実技 B (ダンス)	2前・後	1	1			1				
	スポーツ実技 B (武道1)	2前・後	1	1							
	スポーツ実技 B (武道2)	2前・後	1	1	1						
	スポーツ実技 C (ゴール型1)	2前・後	1	1	1						
	スポーツ実技 C (ゴール型2)	2前・後	1	1							兼1
	スポーツ実技 C (ベースボール型)	2前・後	1	1	1						
	スポーツ実技 C (ネット型1)	2前・後	1	1	1						
	スポーツ実技 C (ネット型2)	2前・後	1	1		1					
	スポーツ実技 D (野外活動1)	1・2前・後	1	1	1						
	スポーツ実技 D (野外活動2)	1・2前・後	1	1							兼1
小計 (38科目)	—	—	16	46	0	6	1	3	2	0	兼13
専門分野	身体スポーツ文化論	2前・後	2	1	1						兼1
	スポーツ解析演習	2前・後	2	2	1						
	運動処方演習	3前・後	2	2							兼1
	トレーニングプログラム演習	3前・後	2	2		1					
	レクリエーション演習	2前・後	2	2							兼1
	保健体育科教育法 I	2前・後	2	1		1					
	保健体育科教育法 II	2前・後	2	1		1					
	保健体育科教育法 III	3前・後	2	1		1					
	保健体育科教育法 IV	3前・後	2	1		1					
	生涯学習概論 II	3前・後	2	1		1					
	生涯学習支援論 II	3前・後	2	1		1					
	社会教育経営論 II	3前・後	2	1		1					
	労働法規 I	3前・後	2	2							兼1
	労働法規 II (労働と環境)	3前・後	2	2							兼1
小計 (14科目)	—	—	0	28	0	6	0	3	0	0	兼4
専門演習・実習分野	スポーツ科学演習 A	3前・後	2	2	2	1					
	スポーツ科学演習 B	3前・後	2	1	1						
	スポーツ科学演習 C	3前・後	2	2							
	スポーツ科学演習 D	3前・後	2	1							
	スポーツ実技指導演習 A (陸上競技)	3前・後	2	2		1					兼1
	スポーツ実技指導演習 A (器械運動)	3前・後	2	2							兼1
	スポーツ実技指導演習 A (水泳)	3前・後	2	2							兼1
	スポーツ実技指導演習 A (健康体力づくり)	3前・後	2	2							兼1
	スポーツ実技指導演習 B (ダンス)	3前・後	2	2				1			
	スポーツ実技指導演習 B (武道1)	3前・後	2	2		1					
	スポーツ実技指導演習 B (武道2)	3前・後	2	1							
	スポーツ実技指導演習 C (ゴール型1)	3前・後	2	1							
	スポーツ実技指導演習 C (ゴール型2)	3前・後	2	1							兼1
	スポーツ実技指導演習 C (ベースボール型)	3前・後	2	1							
	スポーツ実技指導演習 C (ネット型1)	3前・後	2	1							
	スポーツ実技指導演習 C (ネット型2)	3前・後	2	1		1					
	スポーツ実技指導演習 D (野外活動1)	2・3前・後	2	1							
	スポーツ実技指導演習 D (野外活動2)	2・3前・後	2	2							兼1
	障がい者スポーツ演習	3前・後	2	2				1			兼1
	介護予防運動演習	3前・後	2	2							兼1
健康運動指導実習	3前・後	1	2								
エクササイズ指導実技	3前・後	2	2		1					兼1	
エクササイズ指導実習	3前・後	1	1		1					兼1	
社会教育実習 A	3前・後	1	1		1	1					
社会教育実習 B	3前・後	3	3		1	1					
小計 (25科目)	—	—	0	48	0	5	1	3	2	0	兼8
専門総合分野	健康スポーツ学総合演習 I	3後	2	0	3	1					
	健康スポーツ学総合演習 II	4前	2	0	3	1					
	卒業研究 I	4前	2	0	5	1					
	卒業研究 II	4後	2	0	5	1					
	小計 (4科目)	—	—	8	0	0	5	0	1	0	0
教職に関する科目	教育原論	1前・後	1	1							兼1
	教職概論	1前・後	2	2							兼1
	教育制度論	2前・後	2	2							兼1
	学校教育心理学	2前・後	2	2							兼1
	特別支援教育論	2前・後	1	1							兼1
	教育課程論	3前・後	2	2							兼1
	道徳教育理論・指導法	3前・後	2	2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後	1	1							兼1
	特別活動の指導法	3前・後	2	2							兼1
	教育方法論	2前・後	2	2							兼1
	生徒指導論	2前・後	1	1							兼1
	教育相談	3前・後	1	1							兼1
	進路指導・キャリア教育論	3前・後	1	1							兼1
	教育実習事前事後指導	4前・後	1	1	1	1					兼3
	教育実習 I (高のみ)	4前・後	2	1	1	1					兼3
	教育実習 II (中・高)	4前・後	4	1	1	1					兼3
	教職実践演習 (中・高)	4後	2	1	1	1					兼3
小計 (17科目)	—	—	0	0	29	1	0	1	0	0	兼6
専門教育科目 合計 (98科目)	—	—	24	122	29	6	1	3	2	0	兼23
健康スポーツ学科 合計 (157科目)	—	—	43	182	29	6	1	3	2	0	兼58

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】	
本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、スタンダード科目、オプション科目、専門教育科目、その他、合計124単位以上を修得すること。	
【履修単位の上限】	
1年間に履修申請できる単位数は48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目及び再受験科目として申請している科目を除く。	
【履修方法】	
○スタンダード科目	必修科目：15単位
(小計)	15単位
○オプション科目	必修科目：4単位 (『統計学』2単位、「日本国憲法」2単位)
選択科目：14単位	
(小計)	18単位以上
○専門教育科目	必修科目：24単位 (『専門基礎分野』16単位、『専門総合分野』8単位)
選択科目：61単位	
(「スポーツ実技A」の種目から3科目3単位、 「スポーツ実技B」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技C」の種目から1科目1単位、 「スポーツ実技D」の種目から1科目1単位、 「身体スポーツ文化論」、「スポーツ解析演習」、 「運動処方演習」、 「トレーニングプログラム演習」、「レクリエーション演習」 の科目から3科目6単位、 「スポーツ科学演習A」、「スポーツ科学演習B」、 「スポーツ科学演習C」、「スポーツ科学演習D」の科目から 1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習A」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習B」の種目から1科目2単位、 「スポーツ実技指導演習C」の種目から1科目2単位)の 20単位を含むこと)	
(小計)	85単位
○その他	選択科目：6単位
(小計)	6単位以上 (所属学科の専門教育科目、オプション科目、 他学科の専門教育科目含む)
(合計)	124単位以上

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育内容の充実を図るため「アカデミックリテラシー」の担当教員を「兼2」から「兼3」に変更。(糸川裕子兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「地域創成と危機管理」の担当教員の配置を「兼7」から「兼14」に変更。
- ・担当科目の見直しにより「生進学習支援論Ⅰ」「教育経営論Ⅰ」の担当教員を「兼1」から「兼0」に変更。(岡田 大爾兼任教授、寺重 隆兼教授、久次 弘子兼任教授、吉川 眞兼任教授、梅 林兼准教授、正司 強兼准教授、大藤 弘典兼任講師 増)

【令和3年度】

- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅰ」の担当教員を「兼0」から「兼1」に変更。(藤本 隆弘兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅱ」の担当教員を「兼0」から「兼1」に変更。(奥田 祐子兼任講師 増)
- ・担当科目の見直しにより「生涯学習支援論Ⅰ」「教育経営論Ⅰ」の担当教員を「兼1」から「兼0」に変更。(関口 昌和兼任講師 減)

【令和4年度】

- ・教育内容の充実を図るため「Reading&Writing」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。(大原 美智恵兼任講師 増)
- ・担当科目の見直しによる「日本事情a」「日本事情b」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。(原田 雅嗣兼任教授 減)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技A(水泳)」の担当教員を「教授0」から「教授1」に変更。(服部 宏治教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技B(健康体力づくり)」「スポーツ実技指導演習A(健康体力づくり)」の担当教員を「助教0」から「助教1」に変更。(佐伯 若夏助教 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技D(野外活動2)」「スポーツ実技指導演習D(野外活動2)」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。(谷口 司兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「レクリエーション演習」の担当教員を「助教0」から「助教1」に変更。(市川 裕代助教 増)
- ・担当科目の見直しによる「介護予防運動演習」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。(東辻 流一兼任講師 減、佐藤 洋子兼任講師、辻井 英利兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康運動指導実習」の担当教員を「教授2」から「教授3」に変更。(曾 輝教授 増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ総合演習Ⅰ」の担当教員を「講師1」から「講師3」、「助教0」から「助教2」に変更。(岡本 昌規講師、足立 達也講師、市川 裕代助教、佐伯 若夏助教 増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ総合演習Ⅱ」の担当教員を「講師1」から「講師3」、「助教0」から「助教2」に変更。(岡本 昌規講師、足立 達也講師、市川 裕代助教、佐伯 若夏助教 増)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅰ」の担当教員を「兼0」から「兼1」に変更。(井上 聖兼講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅱ」の担当教員を「兼0」から「兼1」に変更。(笹川 紀夫兼任教授 増)

【令和5年度】

- ・教育内容の充実を図るため「テュートリアル」の担当教員を「講師3」から「講師4」、「助教0」から「助教2」に変更。(趙 倩穎講師、市川 裕代助教、佐伯 若夏助教 増)
- ・担当科目の見直しによる「地域創成と危機管理」の担当教員を「兼14」から「兼13」に変更。(坂口 英児兼任講師 減)
- ・教育内容の充実を図るため「科学実験a」の担当教員を「兼3」から「兼4」に変更。(清水 良兼講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ経営管理」の担当教員を「講師0」から「講師1」に変更。(趙 倩穎講師 増)
- ・担当科目の見直しによる「スポーツ社会学」の担当教員を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。(服部 宏治教授 減、趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツビジネス特論」の担当教員を「講師0」から「講師1」に変更。(趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「学校保健」の担当教員を「兼担1」から「兼担2」に変更。(小林 敏生兼任講師 減、住居 広士兼任講師 増、亀山 徹兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「レクリエーション概論」の担当教員を「助教0」から「助教1」に変更。(市川 裕代助教 増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康教育学」の担当教員を「兼担1」から「兼担2」に変更。(小林 敏生兼任講師 減、住居 広士兼任講師 増、亀山 徹兼任講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技(野外活動1)」の担当教員を「講師0」から「講師1」に変更。(足立 達也講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「身動スポーツ文化論」の担当教員を「講師0」から「講師1」に変更。(趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「レクリエーション演習」の担当教員を「助教0」から「助教1」に変更。(市川 裕代助教 増)
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ科学演習A」の担当教員を「講師0」から「講師1」に変更。(趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康運動指導実習」の担当教員を「助教0」から「助教1」に変更。(佐伯 若夏助教、増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ学総合演習Ⅰ」の担当教員を「講師3」から「講師4」に変更。(趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ学総合演習Ⅱ」の担当教員を「講師3」から「講師4」に変更。(趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「卒業研究Ⅰ」の担当教員を「講師1」から「講師4」に変更。(岡本 昌規講師、足立 達也講師、趙 倩穎講師 増)
- ・教育内容の充実を図るため「卒業研究Ⅱ」の担当教員を「講師1」から「講師4」に変更。(岡本 昌規講師、足立 達也講師、趙 倩穎講師 増)
- ・教職課程の教育内容の変更に伴い、教職に関する科目に「情報通信技術の活用」の科目を追加、担当教員に「兼任1」を追加。(井山慶信兼教授 増)

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	111 科目	17 科目	157 科目	29 科目 [0]	111 科目 [0]	18 科目 [1]	158 科目 [1]	教育職員免許法施行規則の変更に伴い「情報通信技術の活用」を新設(5)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 1,460.88㎡ 1,896.32㎡ 2,384.69㎡ 借用期間：30年 (平成20年以来継続) 運動場用地売却のため(2)			
	校舎敷地	213,334.58㎡	0㎡	0㎡	213,334.58㎡				
	運動場用地	185,687.51㎡ 189,896.36㎡	0㎡	0㎡	185,687.51㎡ 189,896.36㎡				
	小 計	399,022.09㎡ 403,230.94㎡	0㎡	0㎡	399,022.09㎡ 403,230.94㎡				
	そ の 他	6,515.89㎡	0㎡	0㎡	6,515.89㎡				
合 計	405,537.98㎡ 409,746.83㎡	0㎡	0㎡	405,537.98㎡ 409,746.83㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	登記上面積の誤差のため (2)				
	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ (116,024.62㎡ 117,137.07㎡)	0㎡	0㎡	116,024.62㎡ 117,137.07㎡ (116,024.62㎡ 117,137.07㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス集約に伴う 変更。設置学部では使 用しない部屋であり、 教育・研究に支障はな い。(2)			
	86室 94室	419室 453室	262室 277室	8室 11室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員数変更に伴う増 (5)			
	健康スポーツ学部 健康スポーツ学科		13 12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 ・図書 203,011冊 201,248冊 159,403冊 167-168冊 169-170冊 〔30,140冊〕 〔30-150冊〕 〔30-114冊〕 〔30-118冊〕 〔30-188冊〕 〔30-188冊〕 共用分(関係洋図書除く)による減。この ことによる教育・研究への支障はない。 (2) 洋図書の減は、通水被害を受けた洋図書の 除却による。このことによる教育・研究へ の支障はない。(3) 洋図書の減は標本の除却による。この ことによる教育・研究への支障はない。 (5) ・学術雑誌 1,121種 1,108種 21,265冊 〔471種〕 〔472種〕 〔4,526冊〕 冊数一種数に変更(2) 洋図書籍 種数増の為(3) ・電子ジャーナル 8種(7種) 14種(10種) 電子ジャーナルの減少は購読を取り止めた 為。このことによる教育・研究への支障は ない。(4) 教育研究環境充実の為(2) 教育研究環境充実の為(3) 教育研究環境充実の為(4) 教育研究環境充実の為(5)	
		冊	種	種	点	点	点		
	〇〇学部	2,362〔322〕 2,215〔322〕 2,145〔320〕 2,018〔320〕 1,838〔317〕	22〔9〕 12〔0〕	1〔0〕 3〔2〕 0〔0〕	117〔1〕 114〔1〕 113〔0〕 111〔0〕 101	4,426 4,420 3,082	201		
		2,362〔322〕 2,215〔322〕 2,145〔320〕 2,018〔320〕 1,838〔317〕	(22〔9〕) (12〔0〕)	(1〔0〕) (3〔2〕) (0〔0〕)	(117〔1〕) (114〔1〕) (113〔0〕) (111〔0〕) (101)	4,426 4,420 (3,082)	(201)		
	計	2,362〔322〕 2,215〔322〕 2,145〔320〕 2,018〔320〕 1,838〔317〕	22〔9〕 12〔0〕	1〔0〕 3〔2〕 0〔0〕	117〔1〕 114〔1〕 113〔0〕 111〔0〕 101	4,426 4,420 3,082	201		
(2,362〔322〕) (2,215〔322〕) (2,145〔320〕) (2,018〔320〕) (1,838〔317〕)		(22〔9〕) (12〔0〕)	(1〔0〕) (3〔2〕) (0〔0〕)	(117〔1〕) (114〔1〕) (113〔0〕) (111〔0〕) (101)	4,426 4,420 (3,082)	(201)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席数減少は設備故障等による閱 覧室閉鎖、書架増設の為(2) 収納可能冊数の増加は書架増設の 為(2)			
	3,621.31㎡	507 635		253,643 244,195					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	5,550.52㎡	第2練習場、第3練習場、第4練習場、テニスコート 4面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	【図書購入費】 教育研究環境充実の為(2) 教育研究環境充実の為(3) 教育研究環境充実の為(5)
		教員1人当たり研究費等	190千円 283千円	149千円 283千円	図書購入費	4,408千円 4,404千円	631千円 315千円 151千円	689千円 283千円	
	共同研究費等	-千円	-千円	設備購入費	221,535千円 216,888千円	16,628千円 11,229千円	-千円	【教員一人当たり研究費等】 学部担当予算変更のため (5)	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,370千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、補助活動収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	広島国際大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
保健医療学部	4	220	-	880	-	1.06	-	1.03	1.01	-	平成10	-						
診療放射線学科	4	70	-	280	学士 (診療放射線学)	1.18	-	1.18	1.15	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36						
医療技術学科	4	100	-	400	-	0.97	-	0.94	-	令和2	平成25	同上						
臨床工学専攻	4	50	-	200	学士 (臨床工学)	0.90	-	0.85	-	-	平成25	同上						
臨床検査学専攻	4	50	-	200	学士 (臨床検査学)	1.03	-	1.02	0.98	令和2	平成25	同上						
救急救命学科	4	50	-	200	学士 (救急救命学)	1.09	-	1.02	-	令和2	令和2	同上						
総合リハビリテーション学部	4	180	-	720	-	1.06	-	1.00	0.99	-	平成25	-						
リハビリテーション学科	4	180	-	720	-	1.06	-	1.00	0.99	令和2	平成25	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36						
理学療法学専攻	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.13	-	1.05	1.04	令和2	平成25	同上						
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.14	-	1.12	1.10	-	平成25	同上						
言語聴覚療法学専攻	4	30	-	120	学士 (言語聴覚療法学)	0.90	-	0.86	-	-	平成25	同上						
リハビリテーション支援学科	4	-	-	-	学士 (医装具学)	-	-	-	-	-	平成25	同上	令和2年度入学生より学生募集停止					
義肢装具学専攻	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
医療福祉学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成10	-						
医療福祉学科	4	-	-	-	学士 (医療福祉学)	-	-	-	-	-	平成10	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止 令和4年度3年次編入学生より学生募集停止					
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4 4 4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -					
医療経営学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成23	-						
医療経営学科	4	-	-	-	学士 (医療経営学)	-	-	-	-	-	平成23	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止					
心理科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13	-						
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	-	-	-	平成13	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	平成27年度入学生より学生募集停止 平成29年度3年次編入学生より学生募集停止					
心理学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成27	-						
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	-	-	平成27	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	令和2年度入学生より学生募集停止 令和4年度3年次編入学生より学生募集停止					
看護学部	4	120	3年次 10	500	-	1.04	-	1.00	0.97	-	平成15	-						
看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.04	-	1.00	0.97	-	平成15	広島県東広島市 5丁目1番1号						
薬学部	6	120	-	720	-	0.78	-	0.73	-	-	平成18	-						
薬学科(6年制)	6	120	-	720	学士 (薬学)	0.78	-	0.73	-	-	平成18	広島県東広島市 5丁目1番1号						
医療栄養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成26	-						
医療栄養学科	4	-	-	-	学士 (医療栄養学)	-	-	-	-	-	平成26	広島県東広島市 5丁目1番1号	令和2年度入学生より学生募集停止					

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度		
健康科学部	4	350	-	1,400	-	0.76	-	0.74	-	-	令和2	-	
医療福祉学科	4	100	-	400	学士 (医療福祉学)	0.51	-	0.53	-	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
医療福祉学専攻 介護福祉学専攻	4												
保育福祉学専攻	4												
医療経営学科	4	90	-	360	学士 (医療経営学)	0.89	-	0.85	-	令和2	令和2	同上	
心理学科	4	100	-	400	学士 (心理学)	0.77	-	0.75	-	令和2	令和2	同上	
医療栄養学科	4	60	-	240	学士 (医療栄養学)	0.98	-	0.92	-	令和2	令和2	広島県東広島市 5丁目1番1号	
健康スポーツ学部	4	70	-	280	-	1.13	-	1.09	-	-	令和2	-	
健康スポーツ学科	4	70	-	280	学士 (健康スポーツ学)	1.13	-	1.09	-	令和2	令和2	広島県東広島市 黒瀬学園台555番地36	
大学全体	4 6	940 120	3年次 10 0	3,780 720	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育内容の充実を図るため「アカデミックリテラシー」の担当教員を追加（糸川裕子兼任講師 増）
- ・教育内容の充実を図るため「地域創生と危機管理」の担当教員を追加（岡田 大爾兼任教授、寺重 隆視兼任教授、久次 弘子兼任教授、吉川 真兼任教授、梅 林兼担教授、正司 強兼担教授、大藤 弘典兼担講師 増）

【令和3年度】

- ・学位取得により保有学位変更。（市川 裕代専任助教、佐伯 若夏専任助教）
- ・昇格による職位の変更。（井山 慶信兼担講師→井山 慶信兼担教授）
- ・担当科目の見直しによる「英語リーディングⅠ」「英語リーディングⅡ」の担当教員を変更。（田原 光広兼任講師 減、大原 美智恵兼任講師 増）
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅰ」の担当教員を追加（藤本 隆弘兼任講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「生物学」の担当教員を変更。（高井 節夫兼任講師 減、太田 茂兼任教授 増）
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実習Ⅱ」の担当教員を追加（奥田 祐子兼任講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「スポーツ医学」の担当教員を変更。（大石 陽介兼任講師 減、住居 広士兼任講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「生涯学習支援論Ⅰ」「教育経営論Ⅰ」の担当教員を変更。（関口 昌和兼任講師 減）

【令和4年度】

- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技A（水泳）」の担当教員を追加（服部 宏治教授 増）令和3年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「健康運動指導実習」の担当教員を追加（菅 輝教授 増）令和3年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ学総合演習Ⅰ」の担当教員を追加（岡本 昌規講師、足立 達也講師、市川 裕代助教、佐伯 若夏助教 増）令和3年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ学総合演習Ⅱ」の担当教員を追加（岡本 昌規講師、足立 達也講師、市川 裕代助教、佐伯 若夏助教 増）令和3年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「レクリエーション演習」の担当教員を追加（市川 裕代助教 増）令和3年5月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技A（健康体力づくり）」の担当教員を追加（佐伯 若夏助教 増）令和3年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技指導演習A（健康体力づくり）」の担当教員を追加（佐伯 若夏助教 増）令和3年11月教員審査済み。
- ・担当科目の見直しによる「日本事情a」「日本事情b」の担当教員を変更。（原田 雅嗣兼任教授 減）
- ・教育内容の充実を図るため「Reading&Writing」の担当教員を追加（大原 美智恵兼任講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「生物学」の担当教員を変更。（太田 茂兼任教授 減、北川 雅恵兼任講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「介護予防運動演習」の担当教員を変更。（東辻 汎一兼任講師 減、佐藤 洋子兼任講師、辻井 英利兼任講師 増）
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技D（野外活動2）」「スポーツ実技指導演習D（野外活動2）」の担当教員を追加。（谷口 司兼任講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「スポーツ栄養学」の担当教員を変更。（旭 久美子兼任教授 減、梶井 理恵兼任講師 増）
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅱ」の担当教員を追加（笹川 紀夫兼任教授 増）
- ・教育内容の充実を図るため「専門職連携総合演習Ⅰ」の担当教員を追加（井上 聖兼担講師 増）

【令和5年度】

- ・担当科目の見直しによる「地域創成と危機管理」の担当教員を変更。（坂口 英兒兼任講師 減）
- ・担当科目の見直しによる「英語リーディングⅠ」の担当教員を変更。（田原 光広兼任講師 増、小林 洋子兼任講師 減）
- ・担当科目の見直しによる「英語リーディングⅡ」の担当教員を変更。（田原 光広兼任講師 増、小林 洋子兼任講師 減）
- ・担当科目の見直しによる「生物学」の担当教員を変更。（清水 良兼担講師 増、北川 雅恵兼任講師 減）
- ・担当科目の見直しによる「科学実験a」の担当教員を追加。（清水 良兼担講師 増）
- ・担当科目の見直しによる「Reading&Writing」の担当教員を変更。（山本 愛子兼任講師 増、大原 美智恵兼任講師 減）
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ実技D（野外活動1）」の担当教員を追加（足立 達也講師 増）令和4年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「チュートリアル」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・（市川 裕代助教、佐伯 若夏助教、増）令和4年11月教員審査済み。
- ・担当科目の見直しによる「スポーツ実習Ⅰ」の担当教員を追加（足立 達也講師 減、趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ経営管理学」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・担当科目の見直しによる「スポーツ社会学」の担当教員を変更。（服部 宏治教授 減、趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツビジネス特論」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「身体スポーツ文化論」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「スポーツ科学演習A」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「レクリエーション概論」の担当教員を追加（市川 裕代助教、増）令和4年11月教員審査済み。
- ・担当科目の見直しによる「学校保健」の担当教員を変更。（住居 広士講師、亀山 徹講師 増、小林 敏生講師 減）
- ・担当科目の見直しによる「健康教育学」の担当教員を変更。（住居 広士講師、亀山 徹講師 増、小林 敏生講師 減）
- ・教育内容の充実を図るため「教育原論」の担当教員を追加（金丸 純二兼任教授 増、中嶋 一恵兼任講師 減）
- ・担当科目の見直しによる「介護予防運動演習」の担当教員を変更。（織田 修輔講師 増、辻井 英利講師 減）
- ・教育内容の充実を図るため「健康運動指導実習」の担当教員を追加（佐伯 若夏助教 増）令和4年11月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ学総合演習Ⅰ」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「健康スポーツ学総合演習Ⅱ」の担当教員を追加（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「卒業研究Ⅰ」の担当教員を追加（岡本 昌規講師、足立 達也講師）令和4年11月教員審査済み。（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「卒業研究Ⅱ」の担当教員を追加（岡本 昌規講師、足立 達也講師）令和4年11月教員審査済み。（趙 倩穎講師 増）令和5年2月教員審査済み。
- ・教育内容の充実を図るため「情報通信技術の活用」の科目と担当教員を追加（井山慶信兼担教授 増）
- ・担当科目の見直しによる「教育実習事前事後指導」の担当教員を変更。（金丸 純二客員教授 増、寺重隆視 減）
- ・担当科目の見直しによる「教育実習Ⅰ（高のみ）」の担当教員を変更。（金丸 純二客員教授 増、寺重隆視 減）
- ・担当科目の見直しによる「教育実習Ⅱ（中・高）」の担当教員を変更。（金丸 純二客員教授 増、寺重隆視 減）
- ・担当科目の見直しによる「教職実践演習（中・高）」の担当教員を変更。（金丸 純二客員教授 増、寺重隆視 減）

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A/C教員審査）を受けてください。A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A/C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	1	3	2	12	0	6	1	4	2	13	0
(5)	(1)	(2)	(1)	(9)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	1	4	2	13	0	6	1	4	2	13	0
[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
64	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{12} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{13} = \boxed{15.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数						①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数						①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数						①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{12} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画																																						
認可時 (令和元年)	審査意見への対応を踏まえると、当初構想の「医学的・生理学的知見」に基づく教育から「スポーツ科学分野における医・科学的知見」に基づく教育に改められていることから、学部・学科・学位の英語名称は補正前の名称の方がより適切に教育内容をあらわしているため、学部・学科・学位の英語名称を再考することが望ましい。 【認可】 助言事項	指摘いただいたとおり、学部・学科・学位の英語名称を補正前の名称に改め、運用している。	履行済 該当なし																																						
認可時 (令和元年)	設置の趣旨等を記載した書類に資料10として、健康スポーツ学部の教育体系図が添付されているが、健康スポーツ学部と接続する大学院が既にあると誤解を招く図となっているため、大学院に関する記述を改めること。 【認可】 遵守事項	参考資料のとおり、履修体系図における大学院の記述を改めた。なお、学生への履修指導においては、当該資料等を用いて科目区分や履修順序の考え方を説明している。	履行済 該当なし																																						
認可時 (令和元年)	既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島国際大学 医療福祉学部 医療福祉学科) 【認可】 助言事項	<p>[医療福祉学部 医療福祉学科]</p> <p>・入学者数は、各年度5月1日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率 (倍)</th> <th>平均入学定員 超過率 (倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> <td>305</td> <td>247</td> <td>70</td> <td>0.70</td> <td rowspan="5">0.60</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>100</td> <td>230</td> <td>184</td> <td>56</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>100</td> <td>251</td> <td>194</td> <td>66</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 (平成31年度)</td> <td>100</td> <td>216</td> <td>189</td> <td>51</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="5">学生募集停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学部においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている。平成30年度以降は「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。なお、本学部については、令和2年4月に学生募集を停止し、既存の医療経営学科、心理学科、医療栄養学科を含めた1学部4学科構成への改組を行った。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (倍)	平均入学定員 超過率 (倍)	平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60	平成29年度	100	230	184	56	0.56	平成30年度	100	251	194	66	0.66	令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51	令和2年度	学生募集停止					履行済 該当なし
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (倍)	平均入学定員 超過率 (倍)																																			
平成28年度	100	305	247	70	0.70	0.60																																			
平成29年度	100	230	184	56	0.56																																				
平成30年度	100	251	194	66	0.66																																				
令和元年度 (平成31年度)	100	216	189	51	0.51																																				
令和2年度	学生募集停止																																								
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科) 【AC】 指摘事項 (改善)	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率 (倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。その結果、2021年度の入学定員充足率は0.63倍と改善傾向にある。今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	履行済 該当なし																				
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率 (倍)																																				
令和2年度	100	202	184	49	0.49																																				
令和3年度	100	196	176	63	0.63																																				

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和3年)</p>	<p>教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1" data-bbox="643 241 1161 360"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」、「留学生の確保」を3つの課題として掲げ、広報活動を行った。 具体的には、広島県、山口県、島根県を重点に置いた独自奨学金など資金支援制度の強化、福祉の魅力向上に向けた高大連携および行政機関との連携の実施、日本語学校からの留学生確保を念頭に置いた学校訪問等を行った。 2022年度の入学定員充足率は0.59倍と前年度より若干の減少となった。コロナ禍の中、留学生の確保が困難な状況であったが、今後も継続した広報活動を実施し、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	<p>履行済</p> <p>該当なし</p>						
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																													
令和2年度	100	202	184	49	0.49																													
令和3年度	100	196	176	63	0.63																													
令和4年度	100	107	96	59	0.59																													
<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和4年度)</p>	<p>教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康科学部医療福祉学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>○ 広島国際大学 健康科学部 医療福祉学科の定員充足率について</p> <p>・ 入学者数は、各年度5月1日現在 [健康科学部 医療福祉学科]</p> <table border="1" data-bbox="643 779 1161 898"> <thead> <tr> <th>入学年度</th> <th>入学定員 (人)</th> <th>志願者数 (人)</th> <th>合格者数 (人)</th> <th>入学者数 (人)</th> <th>入学定員 充足率(倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>100</td> <td>202</td> <td>184</td> <td>49</td> <td>0.49</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>100</td> <td>196</td> <td>176</td> <td>63</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>100</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>59</td> <td>0.59</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>100</td> <td>87</td> <td>79</td> <td>34</td> <td>0.34</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療福祉学科においては、介護・福祉の現場における労働環境が社会的に問題視されている背景もあり、入学定員が充足できない状況が続いている中、「福祉分野の志願者の確実な志願獲得」、「福祉興味層の新規開拓」を課題として掲げ、広報活動を行った。 令和6年度より社会学科に改組することにより、募集停止する学科であるため募集活動が難しい環境であったが、特色である地域活動をアピールし、福祉の知識のニーズが福祉施設にとどまらず行政や企業にまで広がっていることを伝えながら募集活動を行った。福祉施設と連携した独自奨学金を次年度以降も継続することを決め、さらに高大連携を見据えた高校訪問等を行った。 令和5年の入学定員充足率は0.34倍と医療福祉学科としては最後の募集ということもあり、前年度より大幅な減少となった。今後は社会学科として新たに募集を行い、適正な学生獲得に努める。</p>	入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)	令和2年度	100	202	184	49	0.49	令和3年度	100	196	176	63	0.63	令和4年度	100	107	96	59	0.59	令和5年度	100	87	79	34	0.34	<p>履行済</p> <p>該当なし</p>
入学年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	入学定員 充足率(倍)																													
令和2年度	100	202	184	49	0.49																													
令和3年度	100	196	176	63	0.63																													
令和4年度	100	107	96	59	0.59																													
令和5年度	100	87	79	34	0.34																													

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康スポーツ学部 健康スポーツ学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度から教員の教育力向上を推進するために「広島国際大学FD委員会」を設置した。広島国際大学FD委員会には6つのワーキンググループ（調査活動WG、広報活動WG、セミナー運営WG、授業公開WG、ICT活用教育推進WG、研修会運営WG等）を設け、懸案事項やFD活動について具体的に審議し実践しており、令和5年度においてもこれらの活動を継続していく。なお、当委員会では、大学院を含む全学的な内容について対応している。（「広島国際大学FD委員会規定」については、別紙資料のとおり）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 広島国際大学FD委員会は年8回程度の頻度で開催し、各WGの活動は随時行っている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生に対する受講生満足度調査アンケートの実施及び結果の分析ならびに顕彰とフィードバック 2. FD研修会・FD講演会など、授業改善のための情報の共有や提供 3. FDに関する広報誌としての「FD newsletter」発行（年1回） 4. FD活動報告冊子の発行（隔年） 5. 教員相互の授業公開など、授業改善のための諸方策の検討・実施等への取り組み 6. ICT活用教育の広報・研修など、ICTを活用した授業の情報提供 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生授業アンケート 2. FD講演会 3. FD研修会 4. FD newsletterの発行 5. FD活動報告冊子の発行 6. 授業公開 7. ICT関連技術の利用方法の周知や、情報教育の整備 <p>b 実施方法 実施内容のそれぞれを担当するワーキンググループが、それぞれ企画・運営を行う。Eメール・会議での報告・掲示等により教職員に周知し、できるだけ多くの教職員が参加できるように配慮している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生満足度調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・前期 令和4年 5月～8月 ・後期 令和4年10月～令和5年3月 ・全科目調査することとしている。（一部特別開講や旧カリキュラムで受講者が若干名の科目は除外）
--

2. FD講演会の開催

- ・日時：令和4年8月24日（水）15：00～16：30
- ・テーマ：学生は授業の何を見ているか ～授業アンケートの自由記述から見えてくるもの～
- ・参加者数：123名

- ・日時：令和5年2月17日（金）15：00～16：30
- ・テーマ：振り返り（メタ認知）
- ・参加者数：91名

3. FD研修会の開催

- ・日時：令和4年9月2日（金）10：00～12：00
- ・テーマ：「アサーション」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：8名

- ・日時：令和4年9月2日（金）14：00～16：00
- ・テーマ：コミュニケーション「積極的傾聴法」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：16名

- ・日時：令和4年9月9日（金）10：30～12：00
- ・テーマ：「コースポートフォリオ作成」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：4名

- ・日時：令和4年9月9日（金）14：00～16：00
- ・テーマ：「到達目標の書き方」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：6名

- ・日時：令和5年3月1日（水）10：00～12：00
- ・テーマ：「ルーブリック活用」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：7名

- ・日時：令和5年3月1日（水）14：00～16：00
- ・テーマ：「コースポートフォリオ」発表会
- ・対象：9月作成研修会参加者
- ・参加人数：3名

- ・日時：①令和5年3月7日（火）13：30～16：00
②令和5年3月17日（金）13：30～16：00
- ・テーマ：「マイクロティーチング」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：①2名
②2名

- ・日時：令和5年2月28日（火）13：00～14：00
- ・テーマ：「Assessor利用」研修会
- ・対象：全教職員
- ・参加人数：対面8名
遠隔24名
Youtube Live 14名

4. FD newsletterの発行

- ・年1回発行（令和4年11月に発行）
- ・全教員と各事務部署に配布

5. 授業公開

- ・前期 令和4年6月～7月
授業公開数：126科目、聴講者数：194名
- ・後期 令和4年12月
授業公開数：115科目、聴講者数：182名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開を実施することにより、他の教員の授業を見学することで質の高い授業を行うための講義手法等の情報共有を
するよう努めている。今後もこれまでの活動を基によりよいFD活動を目指す体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 年2回（前期・後期）実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は学長、FD委員会委員長、学部長、各授業担当者への報告のみとしている。各授業担当者は担当授業の集計結果
に対するレスポンスシート（1. 教員へのアンケート、2. 学生へのフィードバック）を提出し、「教員へのアン
ケート」は集計結果を教員へ、「学生へのフィードバック」は学内掲示により学生に開示している。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「健康科学部」は、少子高齢化の進展、疾病構造の変化等により、健康増進を形成する基本要素となる「交流、休養、栄養・食生活」等の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善の需要が高まっていることを背景に設置したのもであり、4つの学科で構成している。

「医療福祉学科」では、社会福祉学に関する専門知識と技術を幅広く修得し、豊かな人間性を土台として、専門的知識・技術を用いて、様々な生活上の問題を抱える人々に寄り添いながら、地域生活を支援できる人材を養成する。

「医療経営学科」では、医療マインドを有した経営スキルをもって、多角的に医療や健康を検討できる「医療経営」人材を育成し、多くの専門職からなる医療組織を効果的に束ねて、効率的な医療提供を医療機関において貢献する医療マネジメントスタッフの養成を行う。

「心理学科」では、心理学の専門知識とコミュニケーション技術を生かし、自らの立場、状況、対象などの客観的なアセスメントに基づき、課題を見出し、課題の解決のために積極的に行動する人材を養成する。

「医療栄養学科」では、人々の健康の維持、病気の予防・改善のため、栄養と食の力を活用し、地域社会の健康・医療・福祉に貢献できる管理栄養士を養成する。

これらの目的を達成するため以下の取り組みを行っている。

1. 入学確保

学生募集活動では、学科紹介パンフレット作成、ホームページ内容の充実、大学見学会の実施や業者主催の入試説明会への参加、高校等へ積極的に広報を展開し、教育内容とアドミッションポリシーの浸透を行った。

その結果、238名が入学した。今後も引き続き、定員充足にむけた各種改善策の取組みに加えて、学生募集戦略の一層の強化による入学確保に努めることとする。

2. 初年次教育

大学における新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先として、一部オンデマンド（オンライン）授業を活用した。授業実施にあたっては、自律的な学修や、学生一人ひとりに応じたきめ細かな教育が提供できるよう、設問解答、添削指導、質疑応答等の指導を十分に行うことに留意した。

3. 新任教員オリエンテーション

令和5年4月に着任した教員に対し、本学の方針、ビジョン（中長期目標・計画等）、人材養成の理念、学生支援や事務手続等について研修を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止として、研修の一部をオンデマンドで行い、対面での時間を短縮して実施した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年6月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/disclosure/valuation/jihe.html>

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和4年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準を満たしていると認定された。次回は、令和11年度に受審することとしている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○広島国際大学FD委員会規定

2004年4月 2日

改正 2021年4月19日

(目的)

第1条 広島国際大学において教育力向上(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という)を推進するため、広島国際大学FD委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、つぎの委員をもって構成する。

イ 各学部設置各学科の教授、准教授、講師および助教の中から学部長の推薦により学長が任命した者 各学科1名

ロ 教育・学生支援機構課長

ハ その他必要に応じて教育・学生支援機構長の推薦により学長が任命した者 若干名

2 委員の委嘱および解嘱は、委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(委員の任期)

第3条 前条第1項ロ号の委員の任期は、その在任期間中とする。

2 前条第1項イ号およびハ号の委員の任期は、2年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、FDの推進に関するつぎの事項を審議する。

イ FDの実現を図るための、各種セミナー等の企画および実施に関すること

ロ FDを推進し、全職員間の相互理解を促進するためのニューズレターの発行

ハ FDプログラムの開発

ニ 「学生による授業アンケート」等の実施および結果の分析

ホ 授業改善のための方策の検討

ヘ その他FDに関する必要なこと

(委員長、副委員長およびその職務)

第5条 委員会に委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の中から教育・学生支援機構長の意見を聴いて、学長が任命する。

3 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときもしくは欠けたときまたは委員長から命じられたとき、委員長の職務を行う。

(委員以外の出席)

第6条 委員会には、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(小委員会)

第7条 委員会は、必要に応じて、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の委員長および委員は、委員の中から委員長が指名する。ただし、必要に応じて委員以外の者を加えることができる。

3 小委員会では、委員会から付託された事項について審議する。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

(学長への報告)

第9条 委員長は、審議の経過および結果について速やかに教育・学生支援機構長を経て、学長に報告しなければならない。

(委員会の庶務)

第10条 議事録の作成および保管を含め、委員会の庶務は、教育・学生支援機構で取り扱う。

(規定の改廃)

第11条 この規定の改廃は、委員会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長が行う。

付 則

1 この規定は、2004年4月1日から施行する。

2 この改正規定は、2021年4月19日から施行し、2021年4月1日から適用する。